SHIMANO

株式会社 シマノ

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地
広報部 広報課
Phone: 072-223-3957
Fax : 072-223-6045

社会活動報告書

［活動期間 2016.1.1 - 12.31］

SHIMANO

社会活動報告書　発刊にあたって …… 3

企業価値の向上を目指して …… 4
こころ躍る製品を
内部統制システム
シマノを支えるひとづくり

歓びの高揚 …… 8
Shimano Fest 2016 ブラジル / アルゼンチン
自転車と暮らしの情報ツール「Cyclingood」
自転車博物館 サイクルセンター
SHIMANO Cycling World
LIFE CREATION SPACE OVE（オーブ）
シマノレーシング
その他の活動

利用環境の改善と保全 …… 14
環境に配慮した下関新工場
シマノグリーンプラン
身近な環境に対する取り組み
環境負荷低減への取り組み

信頼の構築 …… 20
シマノヨーロッパグループの活動
安全で楽しい自転車利用を目指して
子供たちの教育支援
企業市民として
義捐活動

社会活動報告書を読んで …… 26
チームシマノ社会活動方針 …… 27

社会活動報告書　発刊にあたって

2016年はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが大いに盛り上がり
世界の人々が喜びを共有できた一年でした。一方では、世界中で
大きな自然災害や予期せぬ事態が頻発する目まぐるしい一年でもありました。

時々刻々と変化する世の流れに、人々の心も揺れ動いている時代にこそ
「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」
という使命のもと、微力ながら、人々に感動とやすらぎをお届けすることが
シマノの重要な役割の一つであると考えております。

お蔭さまで、当社は４年後に100周年の大きな節目を迎える運びとなりました。
これからも、日本発の開発型製造業として、感性あふれる精緻なものづくりを
ひたすら追求し続けるとともに、当社なりの身の丈にあった社会への貢献に
全社挙げて誠心誠意、取り組んでまいります。

そして、豊かで新しい自転車文化・釣り文化を創造・提供する
「価値創造企業」であり続けるよう、さらなる努力を続けてまいる所存です。

この報告書が皆さま方に私どもをご理解いただく一助となれば幸いです。

株式会社シマノ
代表取締役社長
島野 容三

企業価値の向上を目指して

―― こころ躍る製品を

当社の事業活動の基本は、「こころ躍る製品」を社会に提供することです。使いやすく快適に走行できる自転車部品、テクノロジーと感性が融合した釣具はもとより、ウェアやシューズなど、それぞれの世界をより楽しく演出する製品をお届けすること。そして自然とともに楽しむサイクリング、フィッシングの素晴らしさをお伝えすることで、お客様により豊かなライフスタイルを提案していきたいと考えています。

自転車部品事業

■ シマノの最上級ロードレーシングコンポーネンツ「DURA-ACE」

モデルチェンジを果たし生まれ変わった「DURA-ACE R9100シリーズ」。一つひとつの自転車部品を最高レベルに高め、すべてのコンポーネンツが一つのシステムとして機能するように設計。ライダーからの入力（ペダリング、変速操作、ブレーキ操作）を最適化することによって、自転車を走らせるための出力の最大化を実現しています。

DURA-ACE R9100シリーズ

■ 都市空間に住む人々のより豊かな生活のために ―― 「METREA」

世界的に都市成長が進む中、自転車は、環境への負荷が少ないとともに、心身の健康を維持してくれる、利便性の高い移動ツールとして注目されつつあります。
そうした背景のもとMETREAは、都市空間をスタイリッシュに、軽快に、より安全に駆ける自転車のために開発されました。

METREA
U5000シリーズ

■ 第10回キッズデザイン賞を「HILMO（ヒルモ）」が受賞

夜間だけでなく、昼間も常時点灯（走行時）する自転車ライトシステム「HILMO」が、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催の第10回キッズデザイン賞を受賞しました。

HILMO

■ iF Design Awardを「SHIMANO Tiagra 4700シリーズ」が受賞

全世界の工業製品などを対象に、優れたデザインを選定するドイツの「iF Design Award 2016」において、シマノの自転車部品「SHIMANO Tiagra 4700シリーズ」が受賞しました。

SHIMANO Tiagra
4700シリーズ

釣具事業

■ AFTA 2016においてシマノの4製品が受賞

フィッシング、マリーン、アウトドアの工業製品を対象に開催された、オーストラリアのトレードショー「AFTA Trade Show 2016」において、シマノの4製品（「STRADIC CI4⁺」「ZODIAS」「NASCI/RAIDER」「怪力」）が優れたプロダクトデザインとして選出されました。

STRADIC CI4⁺

NASCI/RAIDER

ZODIAS

怪力

■ EFTTEX 2016でBest New Productを受賞

ヨーロッパで注目度の高い釣具ショーEFTTEXがオランダの首都アムステルダムで6月に開催されました。35周年を迎えた今回は、35の国と地域から191の企業が出展。「Vanquish」がスピニングリール部門で2016年度「Best New Product」を受賞しました。ライン部門では「怪力」が、ロッド部門では「Fireblood」が第2位を獲得しました。

Vanquish

■ iF Design Awardを「ALDEBARAN」が受賞

全世界の工業製品などを対象に、優れたデザインを選定するドイツの「iF Design Award 2016」において、シマノの軽量ルアー専用ベイトリール「ALDEBARAN」が受賞しました。

ALDEBARAN

内部統制システム

企業価値の向上を目指す上での基礎として、経営・業務の適正を確保する体制が内部統制システムです。
ここでは、その基本的な考え方とシステムについてご紹介させていただきます。

■ 内部統制システムに関する基本的な考え方

株主、消費者、取引先、地域社会、社員など社内外のステークホルダーに対する経営の透明性を高め、経営環境の変化に迅速に対応し、長期安定的に企業価値を向上させていくには、取締役・社員の職務が法令及び定款に適合し（コンプライアンス体制）、効率的に執行されることを確保する（コーポレートガバナンス体制）とともに、これを阻害する要因をリスクとして認識し、適切に制御する仕組みを構築することが重要です。この仕組みを内部統制システムとし、その構築と充実を図ることが経営の重要課題と考えています。

■ コンプライアンス体制

当社がグローバル企業市民として価値創造企業であり続けるために、シマノの一員として行動するための「チームシマノ基本理念」に則り、

- コンプライアンスガイドラインの制定
- コンプライアンス講習会やポスターの掲示等の周知啓蒙活動
- 海外拠点に対するコンプライアンスの推進
- コンプライアンス相談窓口の設置

を行っています。

コンプライアンス
ガイドライン冊子

2016年9月に海外拠点とコンプライアンス状況の確認会議、また各拠点独自で法令知識の講習会を実施するなど、グローバルなコンプライアンス活動に取り組んでいます。

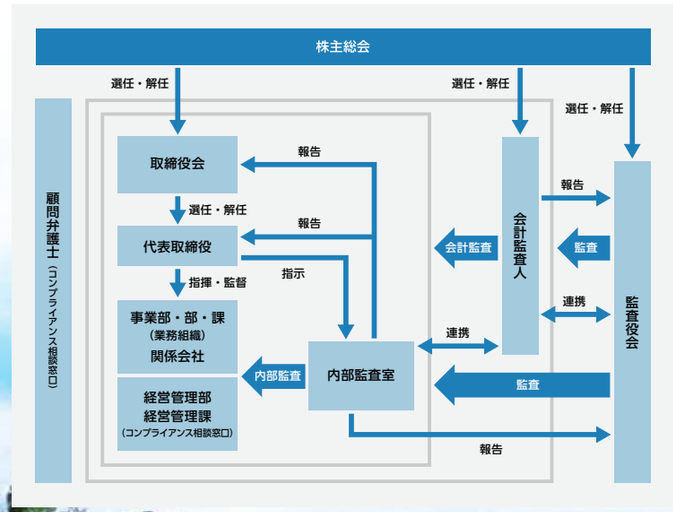
■ コーポレートガバナンス体制

当社は、取締役会を毎月開催し、重要な経営事項の審議・決定並びに各取締役による業務執行を監督するとともに、経営の意思決定を合理的かつ効率的に行うことを目指しています。2005年より外国人取締役及び社外取締役を1名ずつ加え、変化し続ける世界規模での事業活動に対応できる体制作りに努めています。
そして、取締役の職務執行を監督する機関として監査役会を設置しています。監査役は、取締役会をはじめとする主要な会議への出席、取締役等から事業報告の聴取、重要な決裁書類等の閲覧、ならびに業務及び財産の状況の調査等、厳正な監査を実施しています。

■ 内部監査

当社は、内部監査部門として内部監査室を設置しています。内部監査室は、各組織・部署の業務遂行状況を監査し、改善すべき問題点があれば直ちに勧告し、その改善状況をチェックしています。2016年度から、6つの監査（J-SOX、コンプライアンス、業務リスク、情報管理、固定資産、ISO）を一体とした統合内部監査を実施し、内部統制システムの有効性をより一層高める取り組みを実施しています。

コンプライアンス講習会



コーポレートガバナンス体制

シマノを支えるひとづくり

シマノアカデミー　'13年スタート

シマノアカデミーは全ヨーロッパの管理職や若手リーダー、新社員を対象にした教育プログラムです。個人やチーム、またはビジネスの成長を促し、シマノの強みをさらに強化するものです。社員のキャリアアップに繋がる効果的なプログラムとして役立っています。

視野を広げる講習　'12年スタート

毎年シマノヨーロッパでは、「Inspirience※ Workshop」と呼ばれる講習を社員に対して行っています。毎回、専門の講師を招き、様々なトピックについて講義を行っていただいています。

※InspirationとExperienceを合わせた造語

新入社員研修

新たに加わった社員に対して、当社の歴史や企業理念を理解してもらう新入社員研修を行っています。チームシマノの一員として全世界共通の理念のもと、考え、行動するために、講義に加え自転車実走や釣りの体験も含んだカリキュラムを実施。2016年は、シマノ昆山でも新入社員研修を行いました。

新入社員実走研修・管理職研修

シマノ天津では新入社員を対象に、シマノの一員として自転車に慣れ親しみ、製品づくりに生かしてもらうことを目的として実走研修を行いました。また、マネジメントレベルを向上させるために、管理職向けの研修も行っています。

故郷訪問　'13年スタート

シマノ昆山は、業務の都合等で中秋節に帰省できなかった従業員の故郷を訪問し、家族に謝意を伝えるとともに記念品を贈呈しました。

サイクリングイベント　'15年スタート

シマノフィリピンでは自社製品への理解を深めるため社員を対象にしたサイクリングイベントを盛んに行っています。

消防訓練

シマノシンガポールでは、独自の消防団を結成し、災害時に備えて様々な訓練を行っています。

災害に備えた取り組み

シマノ本社では各建物・フロアごとに自衛消防組織を結成し、災害が起こった際に速やかに避難や誘導を行えるよう訓練しています。また、食糧や水を備蓄するなど、災害に備えた様々な取り組みを行っています。

歓びの高揚

―― 人々に楽しみと歓びを提供する

「こころ躍る製品」―― それは人々に自転車・釣りの楽しさを満喫していただくものに他なりません。
そして、その楽しさをより多くの人々に伝え、その機会を提供していくことも、当社の重要な活動のひとつです。
当社が開催や協賛している様々な自転車・釣りのイベントは、人々の楽しみの場であるとともに、交流の場となるものとして大切にしています。
今回は、回を重ねる毎に盛大になっている「Shimano Fest（シマノフェスト）2016」をご紹介いたします。

南米の自転車祭典 Shimano Fest 2016 ブラジル/アルゼンチン

地域の人々が集う、家族のための自転車の祭典、第7回「Shimano Fest 2016」が南アメリカ最大の都市サンパウロ（ブラジル）で、第5回「Shimano Fest Argentina 2016」がブエノスアイレス（アルゼンチン）で行われました。
サイクリストはもとより、より多くの人々に、より自転車のことを知ってもらい、その楽しさを味わっていただき、自転車文化の向上に貢献することを目的に開催しています。当初は小規模で行いましたが、工夫を重ねることで年々に盛り上がりを見せ、いまや両都市の年中行事のひとつにまで成長しています。

「Shimano Fest 2016」ブラジル

2016年9月24日・25日、サンパウロの中心部にある「ジョッキークラブ」において第7回Shimano Festが開催され、20,000人以上の人々が集う盛大な自転車フェスティバルとなりました。
メジャーブランドの自転車や自転車部品を見る楽しみもあるイベントとしても知られ、数々のニューモデルが展示されました。

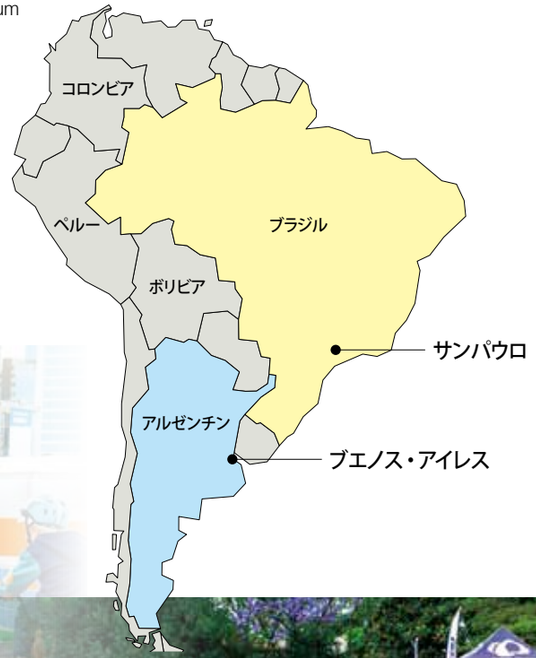
Shimano Fest Criterium

多彩なイベントプログラム

新たにクリテリウム（周回）レースを加えるなど、さらに充実したプログラムとなりました。

〈自転車レース〉
UCI* 公認のショートトラックで行うマウンテンバイク（MTB）レースがメインイベントとして行われ、シクロクロスレースは第2の見どころとして開催されました。
MTBレースではトップレベルのレーサーによるハイパフォーマンスなレースが繰り広げられ、MTBの醍醐味を存分に感じることができるものでした。
また、今回が初めてとなったクリテリウムレース「Shimano Fest Criterium」には100人にのぼるライダーが参加、オープン（男・女）、エリート（男・女）など5つのカテゴリーに分かれて競い合いました。

*UCI：世界自転車競技連合



SHIMANO Fest 2016

〈バイクショー〉
Shimano Fest伝統のロックコンサートと和太鼓の演奏を行いました。

〈キッズエリア〉
子供たちが自転車の乗り方をはじめ、交通ルールやマナーを学ぶ自転車スクールを開催しました。

〈ウーマンエリア〉
女性たちによる自転車についてのトークショーや基本的な自転車メカニックについての講習と実習を行いました。

〈バイクモビリティ〉
自転車のもつ可能性について写真で解説しサイクリングツアーを行いました。

〈エキスポツアー〉
ニューモデルを中心に120以上のメーカーが製品を展示。多くのブースで会場を盛り上げていただきました。

〈ラディカルバイク〉
ダートコースでのBMXジャンプやパンプトラック・ヤングライダーによるトライアル＆パフォーマンスが行われました。

〈フィッシングエリア〉
シマノのもう１つの事業である釣りの世界に触れてもらおうと、キッズゲームや若者と大人によるキャスティングトーナメントを楽しんでもらいました。

忘れられない２日間

「会場は常に参加者の笑顔で包まれていました。家族、子供、選手、関係者、メディアなど、すべての方々にほんとうに喜んでいただくことができ、スタッフにとっても忘れられない２日間でした。」（スタッフ談）

恒例の和太鼓のパフォーマンスには
多くの観客が集まりました

「Shimano Fest Argentina 2016」

第５回となる「Shimano Fest Argentina 2016」は、10月22日・23日にアルゼンチンの首都ブエノスアイレス・パレルモ公園（Palermo Lakes）で開催。大会の２日間は好天にも恵まれ、約24,000人の参加者にイベントや競技を存分に楽しんでいただくことができました。
12,000㎡におよぶイベントエリアには、ライディングコースのほか、テントやステージが設営され、様々なアトラクションが催されました。
ブラジル・サンパウロ大会と同様、ショートトラックレースをはじめ、クリテリウム・ロードレース、フリースタイル／BMX／トレイルレースが行われました。またウーマンエリアやキッズエリア、フィッシングエリアがあり、約360台の自転車展示、約400台の試乗車など幅広いアトラクションプログラムが開催されました。

観衆を沸かせた
バイクトライアル

Shimano Festの様子を、
インターネットラジオにて生中継しました

ウーマンエリアでは女性同士で
自転車についてのトークショーも

フィッシングエリアでは、
小さな“釣り堀”で疑似フィッシングを
楽しんでいただきました

盛大な表彰式
入賞の名誉と景品にライダーたちも大喜び

■ 自転車と暮らしの情報ツール「Cyclingood」

'13年スタート

「自転車と一緒につくる健康的で豊かな暮らし」を一人でも多くの方に知っていただくことを目的として、「Cyclingood（サイクリングッド）」を発信しています。「自転車と健康」の関係について大学と共同研究を行い、その結果を掲載するなど様々な情報を社会に向けて発信し、自転車文化の向上に役立てたいと考えています。

フリー情報誌「Cyclingood」

ウェブサイト「Cyclingood Web」

■ 自転車博物館 サイクルセンターの運営協力

'92年スタート

本社のある堺市に1992年に開館した自転車博物館サイクルセンター（運営：公益財団法人シマノ・サイクル開発センター）。国内で唯一の自転車専門の登録博物館として、自転車が発明された1818年のドライジーネ（レプリカ）からオリンピック出場選手が使用した最新の自転車まで、約300台を保有。自転車の展示だけでなく、自転車のあるライフスタイルを提案するための各種イベントや講習など、様々な活動を行っています。

アクセス：JR阪和線「百舌鳥（もず）」駅から徒歩13分
〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-2　Phone：072-243-3196

■ SHIMANO Cycling World

'14年スタート

2014年9月、「自転車文化の発展」「ライフスタイルとしての自転車の推進」「東南アジアにおけるシマノブランドの浸透」を目的として、シンガポールにオープンした体験型展示施設SHIMANO Cycling World。来場者の皆様に、自転車を通じてより豊かなライフスタイルを提案しています。サイクリングコースやメンテナンスに関するワークショップなど多彩なイベントも開催され、2016年の来場者は51,805名を記録しました。

SHIMANO Cycling World

■ LIFE CREATION SPACE OVE（オーブ）

'06年スタート

OVEは新しい自転車文化の発信基地としての活動をしています。行き先を決めて走るのではなく、ちょっと目線を変えてその道のりを愉しむ。そんな散歩感覚で、気ままに自転車を走らせる「OVE散走」をはじめ、イベントやライブラリーを通じ、ゆったりと豊かに自転車に乗っていただくための様々なサイクルスタイルの提案を行っています。

OVE南青山

アクセス：東京メトロ銀座線・半蔵門線
「表参道」駅 または
「外苑前」駅から徒歩8分

〒107-0062 東京都港区南青山3-4-8
KDXレジデンス南青山1F
Phone：03-5785-0403

OVE中之島 '12年スタート

アクセス：地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅・
京阪中之島線「渡辺橋」駅から直結
または地下鉄御堂筋線・京阪本線
「淀屋橋」駅より西へ徒歩5分

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-3-18
中之島フェスティバルタワー フェスティバルプラザ1F
Phone：06-6223-2626

■ シマノレーシング

'73年スタート

1973年発足の「シマノレーシング」。製品開発へのフィードバックとともに、何よりも大事にしているのが日本のサイクルスポーツの発展拡大です。近年は「世界トップレベルで活躍する選手育成」という目標を掲げ、2020年 東京オリンピックで活躍できる選手の育成を目指しています。

■ その他の活動

イベントの主催・協賛

世界各地で自転車や釣りのイベントを開催し、また協賛しています。日本をはじめとするアジア各地や、新興国においても自転車や釣りの楽しみ方を提供する活動を展開しています。

自転車イベント（主催/協賛）

（日本）

'84年スタート
シマノ鈴鹿ロード（三重）❶
2016年8月20日・21日、シマノが主催する日本最大級のスポーツサイクルイベント「シマノ鈴鹿ロード」が鈴鹿サーキットにて開催されました。2日間で約13,000人が参加し、自転車レースを楽しみました。チームシマノメンバー91名がスタッフを務め、大会を支えました。

'91年スタート
SHIMANO Biker's Festival（長野）❷
2016年7月30日・31日、富士見パノラマリゾートにてマウンテンバイクイベント「シマノバイカーズフェスティバル」が開催されました。26回目を迎えた今大会は2日とも晴天に恵まれ、様々な種目のなか、2,400名を超えるライダーの皆様もそれぞれのレースを大いに楽しんでいました。

（中国）

'16年スタート
SHIMANO Biker's Festival（上海）❸
約4,100名が参加

'16年スタート
SHIMANO Biker's Festival（Jiulong Shen）❹
約670名が参加

'10年スタート
Giant＆SHIMANO cup racing（中国各地・全25カ所）❺❻
約15,000名が参加

❶

❷

❸

❹

❺

❻

テクニカルサポートの派遣

トップレベルのプロレースだけでなく、世界各地のサイクルスポーツイベントにもサポートカーとスタッフを派遣。参加者の皆様に安全に楽しんでいただくことを第一にテクニカルサポートを行っています。

'16年のみ
The Worldchampionship paracycling

'10年スタート
Tour of China

'05年スタート
Tour of Qinghai Lake

'06年スタート
Tour of Hainan

'12年スタート
Tour of Zhoushan Island

釣りイベント（主催）

（日本）'84年スタート

ジャパンカップ
競技としての釣りを楽しむ場を提供するため、1984年から始まったジャパンカップ。今では様々な釣種のトーナメントを全国規模で行っており、その競技レベルの高さや正当性が評価されています。

その他のイベント
競技だけでなく、釣りファンに広く楽しんでいただくためのイベントも、多数開催しています。これからも釣り文化のさらなる発展を願い、幅広い活動を続けてまいります。

利用環境の改善と保全

―― 自然環境、生活環境、製品利用環境の改善と保全への協力

地球環境 ―― それはアウトドア・スポーツを楽しむためのフィールドです。
その保全のためにたゆまぬ努力を続けることは、当社にとって当然であり、基本的な命題です。
製造過程において最大限環境負荷を抑えるため、様々な設備改善・革新につねに取り組むとともに、海岸や河川といったフィールドの清掃や環境保全活動にも積極的に参加しています。
今回は、シマノ下関新工場 Intelligent Plant を中心にご紹介します。

環境に配慮したシマノ下関新工場

2016年11月に完成した下関新工場Intelligent Plant（SSF_IP）では、様々な生産機器用インフラ・ユーティリティーをフロア下に収納し、クリーンな大スパンの生産フロアを調えるとともに従業員の安全も確保しています。また、中央熱源を用いた効率的な空調を導入し、局所給排気、高断熱建屋、アースエナジーの利用など、空調負荷低減に積極的に取り組む、高度な省エネを実現しています。
また、建屋西側の外構は、生命のゆりかごとなるビオトープをめざして広大な水景と緑を整備。普段は豊かな就業環境を提供し、工場排水の健全性を確認する指標とするとともに、大雨時の対策として排水調整できる調整池として機能するよう構築。高効率の製造設備としてだけではなく、省エネ化はもとより、環境負荷の低減、自然環境との調和など、トータルな視点に立った最先端の工場となっています。

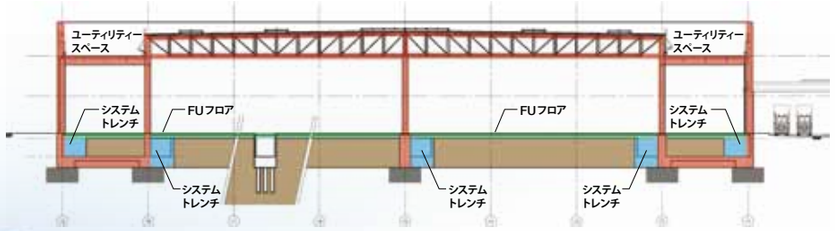
安全性の高い製造フロア

新工場は耐震構造により高い安全性が考慮されています。

- 現行法の保有水平耐力に関しては1.2倍の性能を確保
- 地盤改良に関しては、液状化対策を行い安全性を確保
- 大屋根は、軽量化を図り高い安全性を実現
- クレーンの落下防止、重量物の固定方法は可能な限り水平震度2G* 対応として、落下、転倒防止に配慮

*推定震度６強以上

見渡しのよい広大なフロア。効率のよい、最適な工程の流れをレイアウトしやすく、また従業員の安全性を高めます



空調設備、配管などの工場インフラは地下に配置

写真：プレイスメディア

シマノ下関工場 厚生棟

シマノ下関新工場 Intelligent Plant

徹底したエネルギー利用の効率化

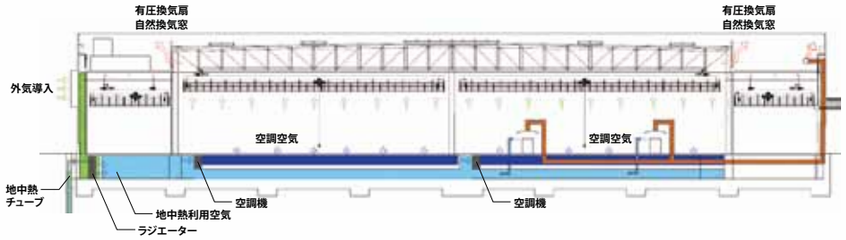
SSF_IP内部は高機密・高断熱な空間となっており、自然換気や地下100mの深さまで埋め込んだ24本のチューブから取り入れた地中熱*を利用するなど、空調の負荷低減を実現しています。照明器具は100% LED電球を使用し、センサーで必要な明りをコントロールしています。また天井にはガラス窓を採用し、自然採光を最大限活用しています。

*地中熱：地中にある熱エネルギーのこと。地中の温度は地下10～200mの深さになると、大気の温度変化の影響を受けにくく、年間を通してほぼ一定（約17℃）になっています。

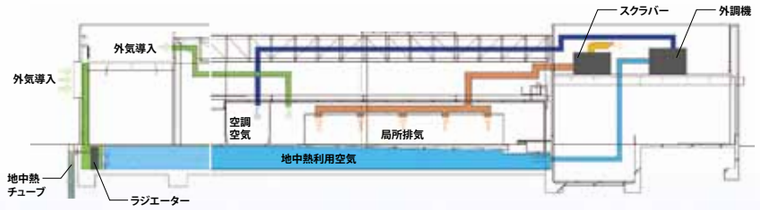
自然光と必要分だけをコントロールしたLED電球による照明

空調換気システム

アルミ加工工場



表面処理工場



自然環境を守るために

下関工場の周辺は瀬戸内海に面し、豊かな自然に囲まれ漁業も盛んな町です。今回の新工場建設にあたっては、地域住民の皆様方の多大なるご理解とご協力をいただきました。私たちはより一層自然環境を守り、地域に貢献していく責務があると考えています。製造過程で発生した排水は、工場内にある排水処理場で適切に処理されます。その一部は調整池に振り分けられて最終的には河川に流されます。調整池には稚魚を放流・育てることで、工場排水の安全性を証明するとともに、生物の生息地（ビオトープ）としての役割も果たしています。

油水分離槽。工場排水以外の敷地内から出た雨水等が調整池に直接流れ込むのを防ぐため、一旦すべて油水分離槽に集めてろ過します

社員のための快適環境

2015年7月から利用開始されている下関工場の厚生棟 Team Shimano Square（TSS）。社員が快適に過ごせ、活動を共有できるような施設に生まれかわりました。また、非常食や毛布などを備蓄し、災害時には避難場所になります。

調整池。大雨時の排水調整に寄与し、工場の排水を防ぎます。

シマノグリーンプラン '04年スタート

当社では2004年以来、環境負荷の低い製品づくりを行うための指針として、
シマノグリーンプラン（SGP）を策定し、協力会社と協働してその順守に取り組んでいます。

■ 法規制への対応、そして最適化へ

SGPは当社製品を構成する原材料・部品・製品に含まれる化学物質の規制値を明確にし、協力会社にも周知徹底することで、より環境負荷・健康負荷の少ない製品と安心を世界中のお客様にお届けすることを目的とした調達基準です。
年々厳しくなる法規制への対応に加え、顧客や市場の要求に応える改訂を行うとともに、シマノ自主基準を改良して法規制対応の効率化などSGPの最適化を図っています。

■ リスクに応じた活動

2004年にスタートしたSGP。現在ではその順守性は大きく向上してきました。同時に、製品含有化学物質の管理上、リスクが高く重点的に管理する必要がある材料・部品が明確になってきました。
2016年4月に発行したSGP9版では、対象となる法規制や市場要求に応じて規制物質リストを自転車部品／釣具／ロウイング製品とアパレル用品関連製品の2つに分冊し、よりわかりやすいものとなりました。
協力会社において含有化学物質の管理状況を確認し、改善するための「セルフチェックシート」も見直し、より正確で高度なものへと改訂しました。また、協力会社にはウェブを通じてSGP文書をダウンロードできるようにし、SGP9版も受け取れるようになっています。

海外拠点のSGPコミッティメンバーとのテレビ会議

SGP9版の協力会社説明会

■ ロードマップ

ここ数年間は順守性を向上させシマノ製品の信頼性を高めるための活動へと発展させてきました。現在はSGP9版の発行により、ロードマップ上のStage3の活動として、法規制対応の効率化と情報コミュニケーションの強化を進めています。
国内・海外のSGPコミッティメンバーと連携をとり、ウェブ会議システムなどの技術も利用しながら協働し、企業活動を高める活動を行います。また、定期的に「SGP NEWS」を発行・配信し、本社工場と海外工場・販社とが情報共有できるようにしています。
今後も協力会社とのパートナーシップを強化し、環境や健康に配慮した製品づくりを推し進めてまいります。

シマノグリーンプラン ロードマップ

SGP#4,5　SGP#6	SGP#7　SGP#8	SGP#9
SGPというしくみの定着 法規制の適合性 ［企業活動における基本的活動］	SGPの有効性 順守性の向上 ［信頼性の向上］	SGPの最適化 法規制対応の効率化 必要情報入手・提供 ［企業価値を高める積極的活動］
Stage1	**Stage2**	**Stage3**
（主な活動） SGPの作成配布 誓約書回収 法規制による改訂 セルフチェックシート 初品による検査	（主な活動） セルフチェックシート改善 SGP取引先評価 取引先監査 NC発生からの順守性改善 SGP-WEBによる文書配布	（主な活動） 法規制対応の効率化 情報コミュニケーションの強化 市場要求への優位的対応

SGPコミッティを中心としたグローバルな組織的活動

身近な環境に対する取り組み

海洋環境保護団体に寄付

シマノヨーロッパグループは、海洋環境保護団体に25,000ユーロの寄付を行いました。この寄付は、海洋のプラスチック破片を取り除くための活動に使われます。

世界環境デーを開催❶ '15年スタート

シマノトルコは、世界環境デーに合わせて、イスタンブールで大規模なサイクリングイベントを開催しました。参加者は19kmのサイクリングを行うとともに、浜辺の清掃活動も実施しました。

「EARTH HOUR」チャリティマーケットに参加❷

シマノ昆山は世界自然保護基金による世界的な環境イベント「EARTH HOUR」にちなんで中国で開催されたチャリティマーケットに参加し、環境保護への意識を呼びかけました。

植樹活動

❸シマノ昆山、シマノ天津は、2009年以来、モンゴルの砂漠地帯に100万本の木を植える"ミリオンツリープロジェクト"に参加しています。緑の広がりを願い、積極的に育成作業を積み重ねています。

❹シマノシンガポールでは前年に引き続き植樹活動を行い、今回はKent Ridge Parkに約50本の植樹をしました。

❺シマノフィリピンは、工場があるファーストフィリピン工業団地の植樹活動に参加しました。シマノフィリピンからは100本の苗木を寄付し、合計で600本もの植樹が行われました。

浜辺の清掃活動❻

シマノ連雲港は工場付近の浜辺の清掃活動を行いました。

海辺の清掃活動❼

シマノコンポーネンツマレーシアは工場付近の海辺の清掃活動を行い、社員とその家族121名が参加しました。

河川の清掃活動❽

シマノフィリピンは周辺企業や住民とともに、急速な産業発展に伴う水質汚染が深刻なファーストフィリピン工業団地内を流れるサンファン川の清掃活動を行いました。

大和川クリーンアップ活動❾

シマノ本社のある堺市と大阪市の境を流れる大和川でクリーンアップ活動が行われ、地元の企業や学校、地域の方々ら総勢約550名（うち、シマノ社員と協力会社合わせて128名）が参加し、2トントラック6台分ものゴミを回収しました。

せんなん里海クリーンアップ活動❿ '02年スタート

大阪府のせんなん里海公園にて、ゴミ調査も兼ねたクリーンアップ活動を行いました。今回はシマノから122名が参加し、合計約110kgのゴミを拾いました。

環境教育への協力⓫ '06年スタート

本社所在地である堺市の小学校をシマノ社員が訪問し、環境教育のサポートを行っています。2016年には市内を流れる石津川水系で刈り取られたヨシによるハガキの紙漉き授業を行いました。このような活動を通して、幼少期からの環境教育に協力しています。

環境負荷低減への取り組み

水資源のマネジメントシステム導入⓬

シマノシンガポールでは、水資源の効率化を目指すマネジメントシステムを導入し、2016年度末までに10%の節水に成功しました。

省エネ活動を継続⓭ '15年スタート

シマノシンガポールでは、2015年にエネルギーマネジメントシステム（ISO50001）の認証を受けて以来、様々な省エネルギー活動を継続しています。アジア圏の他の工場にもその活動を広げています。

コンプライアンスを評価 '06年スタート

シマノシンガポールでは、製造に関わるすべての取引先様に対して、品質、環境、安全およびエネルギー管理のコンプライアンスに対する評価を行っています。

シマノグリーンプランを順守⓮ '05年スタート

シマノ昆山では禁止物質を含まない製品の生産を目指し、SGPを実行し始めて12年目となりました。品質管理部門では当社製品に禁止物質が含まれていないことを保証するため、専門機器を使用して入念に検査しています。

ウォータートリートメント⓯ '97年スタート

シマノ昆山では水資源を保護するために、工場排水の浄化施設を備えています。

騒音監視⓰ '99年スタート

シマノ昆山では、工場周辺の住宅地域における騒音による影響を抑え、さらに職場環境の向上を目指すために、工場内の騒音を監視するシステムを構築しています。

信頼の構築

── 地域社会に企業市民として参加し協働する

地域社会とのコミュニケーションを密にし、企業市民として共存・共栄を図ることは、当社の理想とする企業姿勢です。日本はもとより、世界各地に拠点を置く地域社会の一員として、地域と一体となって取り組める活動を積極的に行っています。今回はシマノヨーロッパグループの活動を中心にご紹介します。

シマノヨーロッパグループの活動

オランダにあるシマノヨーロッパホールディングは、ヨーロッパ各地に展開している販売拠点と連携しながら地域に根差した活動を行っています。

難民の子供たちの支援団体に寄付　'16年

オランダの様々な事情を抱えた難民の子供たちを支援する団体「War Child」へ10,000ユーロの寄付を行いました。

国際飢餓救援活動団体に寄付　'16年

フランスに拠点を置き国際的な飢餓救援活動を行う団体「Action Contre la Faim」に寄付を行いました。

地元企業の雇用を促進　'01年スタート

長年にわたりオランダ・ヌンスピートの地元企業とパートナーとして密接に連携・協力。安全に安心して働ける労働環境の管理業務（庭のメンテナンス、昼食の配布、製品の再梱包等）の提供を行っています。

オランダのYouth Sports Fundに IT機器を寄贈　'15年スタート

シマノヨーロッパのIT部門は、2015年より「Youth Sports Fund Netherlands」にIT機器を寄贈。この財団は、子供たちがスポーツクラブに参加できるようメンバー費や用具のサポートをしています。

Topsport for Life財団のサポート　'10年スタート

生命にかかわる疾患を持つ人たちをサポートするオランダの財団「Topsport for Life」に対し、パートナーとして様々な支援を行っています。

入院児童支援への寄付　'14年スタート

30以上のサイクリングイベントで無料の技術サポートを行い、寄付金を募っています。オランダにある財団「CliniClowns」に寄付することで、小児医療施設で過ごす子供たちの笑顔を育む活動を支援しました。

チャリティサイクリングイベントをサポート　'16年スタート

ベルギーで行われたガンと闘う人々に寄付を行うチャリティサイクリングイベントで、テクニカルサービスなどのサポートを行いました。

障がい者のための財団に自転車を寄贈 '16年

スポーツを楽しむ障がいのある方を支援するオランダの財団に、チャリティオークションに出品するプロレーサーの自転車を寄贈しました。財団は、障がいを持つ人がよりよい環境でスポーツを楽しむことができるようサポートすることを約束してくれました。

DigestScience財団のサイクリングイベントを支援 '13年スタート

消化器系疾患と栄養に関する研究基盤のためのフランスの財団「Digest Science」に、サイクリングイベント開催のための支援を行っています。このイベントは、疾病と闘う人たちにチャレンジする楽しさや希望を感じていただくためのものです。

Mobility Lifeを支援 '15年スタート

様々な疾患を抱え移動が困難な人が自由に移動できるよう、乗り物を無償貸与するイタリアの団体「Mobility Life」のパートナーとして、車両提供を行いました。

地元の職業訓練プロジェクトを支援 '16年スタート

イタリアの高校の職業訓練プロジェクトに賛同し、地元の学生に特定の部門で2週間、シマノの日常業務に携わり、様々な経験をしてもらう活動を行っています。

パラサイクリングチームをスポンサー支援 '15年スタート

UCI上位のドイツのパラサイクリングチームの2016年シーズンのスポンサーとして、約30名の選手にサイクリング用アパレルを提供しました。

安全で楽しい自転車利用を目指して

自転車通勤の促進 '16年スタート

シマノチェコでは、健康増進、社員同士のリレーションシップ、そして町の環境保全を考え、自転車通勤を奨励し、自転車文化を高める活動をサポートしました。

教育省のプログラムをサポート '16年スタート

シマノラテンアメリカはコスタリカにある販売店とともに、国の教育省の教育プログラムをサポートし、Colegios de Cartagoの工芸教授に機械工学と技術に関する講義を行いました。

ロードサインプロジェクト '16年スタート

シマノカナダは2015年より地元のサイクリングルートに160基の標識を立てるなどの整備を進め、この功績が認められてEconomic Developers Council of Ontarioから官民パートナーシップ賞を受賞しました。

自転車空気入れステーションを設置 '15年スタート

シマノシンガポールは、交通安全公園内に2015年設置した自転車用の空気入れステーションの定期的な点検と修理を行っています。

子供たちの自転車を整備 '12年スタート

シマノシンガポールは社会活動の一環として、子供たちがトラブルなく自転車に乗れるよう交通安全公園が保有する自転車の整備を行いました。

自転車修理とメンテナンス講習会を開催

シマノシンガポールは、学生たちを対象に自転車の修理とメンテナンス講習会を開催しました。

学生たちの自転車ライドを支援 '11年スタート

シマノシンガポールは、学生たちが自転車を安全に利用し、サイクリングを通して自然と親しむことを奨励する自転車ライドを開催しました。

オリンピック種目を教えるプロジェクトに協力 '16年スタート

シマノラテンアメリカは、リオデジャネイロの子供たちにオリンピックの種目を教えるプロジェクトに協力し、サイクリング・モビリティに関する講演やMTBとロードバイクの展示、プレゼントの贈呈などを行いました。

子供たちの教育支援

学生にインターンプログラムを実施　'15年スタート

シマノ天津は天津工業大学と天津職業学校の機械製造を専門とする学生に対し、インターンプログラムを実施しました。

専門学校生に奨学金を支給　'15年スタート

シマノ天津は、優れた学業成績、活発な社会活動への参加、素質と能力における高い可能性が認められた専門学校の学生に奨学金を支給しました。

職業体験施設訪問イベントを開催　'16年スタート

シマノ天津は従業員とその子供を対象に、職業体験施設を訪れるイベントを開催しました。

シマノレーシングが地元小学校を訪問

シマノレーシングのメンバーが地元・堺の小学校を訪問。堺の歴史やシマノについて講話し、また、自転車交通ルール、ロードバイク、プロロードレースの世界について紹介しました。

企業市民として

老人ホームを訪問　'09年スタート

シマノ昆山は、年長者への敬意を表して重陽節の前に昆山ボランティア協会とともに老人ホームを訪問し、贈り物を届けました。また、昆山の錦渓古鎮という歴史的な街を一緒に訪れて古代の窯遺跡やミュージアムを見学しました。

小学生を工場見学会に招待　'14年スタート

シマノ昆山は、自転車とシマノについて知ってもらうため、地元の小学生を招いて工場見学会を行いました。

大学生に社内見学会を開催　'16年スタート

シマノ天津は大学と企業間の結びつきを高めるため、天津大学の学生に社内見学会を開催しました。

障がい児孤児院を訪問　'16年スタート

シマノ連雲港は、障がいのある子供たちが暮らす孤児院を訪問しました。

米の販売プロジェクトに参加　'16年スタート

シマノ連雲港は地元のボランティアと一緒に、恵まれない家庭のための米の販売プロジェクトに参加しました。

「天津空港経済圏−トップ100企業」名誉称号を受賞

シマノ天津は浜海新エリアと自由貿易ゾーン発展への貢献が認められ、「天津空港経済圏—トップ100企業」の名誉称号を授与されました。

義捐活動

「Shop With a Cop」プログラムに寄付
'13年スタート

G.Loomisは地元・米国ウッドランドの警察署とともに、恵まれない子供たちに特別なクリスマスプレゼントを贈る「Shop With a Cop」プログラムに寄付を行いました。

「SOS Children's Village」をサポート
'16年スタート

シマノ天津は、保護を必要とする子供たちをケアする団体「SOS Children's Village」をサポートしています。

幼稚園児に学用品を寄付

シマノフィリピンは地域貢献の一環として、地元の幼稚園児たちに学用品のセットを寄付しました。

団体献血を実施　'16年スタート

シマノフィリピンはフィリピン赤十字社と共同で団体献血を行い、50人の社員が1人当たり450ccの献血に協力しました。

シマノバタムでは、年に3回、インドネシアのバタム赤十字とともに、従業員による献血を行っています。

シマノでは毎年、社会貢献の一環として団体献血を実施しています。今年は68人の社員が献血に協力しました。

社会活動報告書を読んで

2016年は時代のパラダイムが急速に変化している。産業面ではドイツや米国で、IoT（インターネット・オブ・シングス）やAI（人工知能）による「インダストリー 4.0」が進展し、他方欧米で“自国第一”的な動きも出てきている。しかし企業のグローバル化はいまや止められない。地域との良好な関係づくりによってビジネスを展開していくのも必然的な流れであろう。

日本では2014年に、投資家向けのスチュワードシップ・コード、2015年にコーポレートガバナンス・コードが制定され、かつての短期的利益出し型から中長期での価値共有型経営、換言すればソーシャル経営にシフトしてきている。企業の経営活動を評価する時、これらの視点に着目したい。

さて本年シマノの社会活動報告書では「企業価値の向上」のため、内部統制システムをしっかり開示している。社外の会計監査人、それを監査する監査役会、社内の内部監査室、取締役会と代表取締役、株主総会などの意思決定と監視のプロセスがフローチャートで示され、投資家、株主等に理解され易いものとなっている。

企業価値創造の柱である本業の自転車部品事業では、ロードレース用「DURA-ACE」がモデルチェンジされ、都市生活で利用が拡大する自転車に「METREA」を開発した。また子供の安全安心に貢献する上で、昼の走行でも常時点灯する「HILMO」がキッズデザイン賞を受賞し、事故軽減に期待できる。ドイツデザイン賞「iF Design Award」では「SHIMANO Tiagra 4700シリーズ」が受賞した。釣具事業では豪州「AFTA Trade Show 2016」で4製品が受賞、オランダ開催の「EFTTEX 2016」ではリール部門で「Best New Product」を受賞、他部門でもドイツにてリール「ALDEBARAN」が受賞した。これだけ多くの受賞を毎年続けられることは社員の努力の成果であることはもちろんだが、テクノロジーと感性を融合する社風が形成されているからではないか。イノベーションを起こすシマノの企業文化に共感を覚える。

グローバル＆地域での「歓びの高揚」は、南米ブラジル/アルゼンチンのShimano Fest 2016が際立っている。約2万人がサンパウロに集い、公認のショートトラックマウンテンバイク（MTB）レースがメインイベントで開催された。自転車文化の普及であり、人々の歓び、体験価値の提供といえよう。国内でも自転車博物館、文化発信基地「OVE（オーブ）」などを展開し、シンガポールでは体験型展示施設が評判となっているようだ。

「利用環境の改善と保全」では下関新工場（山口県）に焦点をあてた。インフラ設備をフロア下に収納、大スパンの生産フロア、耐震構造、地盤改良、高効率製造給排気、高断熱建屋など高効率製造設備で環境負荷低減、エネルギー効率化を図り、災害時には避難所にもなるという。まさにアウトドア関連ビジネスの優れた先端的工場として評価できる。また厳しくなる化学物質規制にSGP（シマノグリーンプラン）に基づいてロードマップを作成し、着実に進めている姿勢はぜひ続けてもらいたい。

「信頼の構築」は地域市民との良好な関係づくりで、今回は欧州各地の販売拠点と連携した企業市民活動を報告している。フランス飢餓組織救援団体への寄付など、各地で地道に積み上げていく活動は誠実であり、SHIMANOブランドへの信頼を高めていくものだろう。中南米各地でも同様に着実な活動をしている事実は、現地の人々にスポーツ文化への理解と関心を与えるだろう。

いま企業はESG（環境・社会・企業統治）による持続可能な成長の実現と、グローバル社会との共生を求められている。本報告書でコーポレート・ガバナンスとグローバルな地域や環境との共生活動を知ることができた。企業価値とは企業にとっての価値というより、顧客（ユーザー）や社会にとっての価値であり、常に変化していると考えられる。

顧客がビジネスを変え、産業や社会を変容させる力を持つようになった。需要や市場は企業の外に客観的に実在しているのではなく、顧客と共に創り出されていくものであろう。顧客や生活者にとっての体験価値を提供することは、彼らの生活課題を解決し、共に変化することでなくてはならない。IoTやAIもそのための手段であり仕組みである。

シマノ・ユーザーやステークホルダーとの対話ツールとして本報告書が活用され、そこから新たな課題の芽を発見できれば、将来を開くビジネスが生まれ、シマノ100周年につなぐことができるであろう。

千葉商科大学大学院客員教授　一般社団法人 日本経営管理学会代表理事・副会長　藤江 俊彦

チームシマノ社会活動方針

「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」という当社の使命にもとづき、チームシマノは「歓びの高揚」、「利用環境の改善と保全」、「企業市民としての信頼の構築」の３つを柱として、それぞれの社会活動方針にしたがって世界中で活動を推し進めてまいります。
またシマノでは、自らの事業に近い分野での社会活動であること、そして地元への貢献としての社会活動であることを基本とし、身の丈にあった活動を地道に、継続的に行うことが大切であると考えています。

歓びの高揚

人々に楽しみと歓びを提供する文化活動

ライフスタイルの提案…
より豊かなサイクリングライフ、フィッシングライフを創出していただくための活動

学習施設…自転車の歴史やしくみなど、さまざまな知識・情報を発信する施設の運営

スポーツ振興…
自転車、釣り、ロウイングの素晴らしさを体感していただくイベントの開催・協賛など

利用環境の改善と保全

活動フィールドの改善と保全

自然環境…清掃・植林など、自然環境を守り、育てる活動及び啓蒙活動

生活環境…騒音対策・省エネ・浄化など、周辺環境に配慮した施策、設備や活動

環境負荷の低い製品づくり…
徹底した法の順守（シマノグリーンプラン〈SGP〉）など、人と環境にやさしいものづくりの推進

信頼の構築

地域社会に企業市民として参加し協働する

教育支援…自転車の乗り方や交通ルールなど、安全に乗っていただくための支援活動

義捐活動…孤児院への寄付、障がい者支援、奨学金支援、献血など、企業市民としての活動

地元地域社会への貢献…
自転車利用環境促進（インフラ整備への協力など）
釣り環境促進（稚魚放流）など、地域社会との協働